

国の教育ローンを申し込む必要がない「申告不要者」はこの申告書等の提出は不要です。

入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

(西暦) 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

入学時特別増額貸与奨学金の申込みにあたり、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を下記のとおり申し込みましたが、融資を受けることができなかったことを申告します。

1. 申告者（学生等） ※学生等本人が記入

フリガナ				※学生等本人の生年月日を記入
氏名				(西暦) 年 月 日生
在学学校	学校名			学籍番号
	学部・研究科			学科・専攻

2. 「国の教育ローン」の申込みについて ※申込者（保護者等）又は学生等本人のいずれかが記入

申込年月	(西暦) 年 月	※「国の教育ローン」を申し込んだ年月を記入		
申込者（保護者等）	氏名			学生等本人から見た関係（続柄）
申込先金融機関	公庫 銀行 金庫等			支店

3. 添付する書類について

提出対象者（該当する□に✓チェックを入れる）	本申告書に添付が必要な書類
<input type="checkbox"/> 全員	<p>「国の教育ローン」を融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー</p> <p>※圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面も併せてコピーして添付してください。</p> <p>※「添付できない」場合は、必ず裏面も記入してください。</p>
<input type="checkbox"/> 第二種奨学金を申し込んでいる （「第一種奨学金」と「入学時特別増額貸与奨学金」のみを申し込んだ人は添付不要）	「入学時特別増額貸与奨学金に係る貸与総額増額願（様式55）」

学校記入欄

学校番号	
学校電話番号	
担当者氏名	

4. 融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピーを添付できない事情等について「融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー」を添付できない場合は、以下 ア・イ のうち該当する理由に☑を入れ、必要事項を漏れなく記入してください。

□ア 申込先金融機関において融資できない旨の通知を文書で発行していないため

①結果の通知方法について、あてはまるものに○をしてください。

金融機関窓口で口頭にて結果を知らされた ・ 電話で結果を知らされた ・ その他 ()

②融資できない理由について、次にあてはまるかを確認してください。

- ・ 借入申込人世帯の年間収入（所得）が公庫の示す金額を超えている。
- ・ 日本政策金融公庫からの借入申込上限額を超えている。
- ・ 教育資金以外の用途である。
- ・ 保護者等以外による申込み。

上記にあてはまる

あてはまる

あてはまらない

上記にあてはまる場合、
 入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けることはできません。
 ※学校に入学時特別増額貸与奨学金を辞退する旨を連絡してください。

※融資できない理由をご記入ください。

□イ 「融資できない旨を記載した公庫発行の通知文」を紛失し、再発行を依頼したが断られたため

「融資できない旨を記載した公庫発行の通知文」は再発行が可能ですので、原則、金融機関に再発行を依頼してください。
 再発行されなかった場合に限り、下記の欄に記入し、本紙を提出することができます。
 なお、再発行の依頼状況について、進学先の学校を通じてあなたに照会することがあります。

再発行を依頼した日	(西暦)	年	月	日
再発行を断られた日	(西暦)	年	月	日
再発行を断られた理由				
融資できない理由				

万一、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込んでいないことが判明した場合は、入学時特別増額貸与奨学金の採用を取り消します。
 この場合、既に振り込まれた入学時特別増額貸与奨学金（第二種奨学金の採用候補者の場合は、第二種奨学金も併せて）の全額を返済しなければなりません。

- 「入学時特別増額貸与奨学金」は日本学生支援機構の奨学金ですので、申込みや手続きに関する照会等は、公庫ではなく在学校にお問合せください。
- 「国の教育ローン」は日本政策金融公庫の融資ですので、申込みや手続きに関する照会等は、公庫にお問合わせください。
- 日本政策金融公庫「国の教育ローン」の融資を受けることができた方、申込手続きを途中で取り下げた方、収入が高い等の理由で日本政策金融公庫が定める申込みの要件を満たさない方又は申込みをしていない方は入学時特別増額貸与奨学金を利用できません。

国の教育ローンを申し込む必要がない「申告不要者」はこの申告書等の提出は不要です。

入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

(西暦) 2025年 6月 20日

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

入学時特別増額貸与奨学金の申込みにあたり、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を下記のとおり申し込みましたが、融資を受けることができなかったことを申告します。

1. 申告者(学生等) ※学生等本人が記入

フリガナ	キコウ ハナコ			
氏名	機構 花子	生年月日	※学生等本人の生年月日を記入 (西暦) 2006年 4月 5日生	
在学学校	学校名	イクシス大学	学籍番号	123
	学部・研究科	教育学部	学科・専攻	教育学科

子・長男 等は誤りです。

2. 「国の教育ローン」の申込みについて ※申込者(保護者等)又は学生等本人のいずれかが記入

申込年月	(西暦) 2025年 5月			※「国の教育ローン」を申し込んだ年月を記入
申込者(保護者等)	氏名	機構 太郎	学生等本人から見た関係(続柄)	父
申込先金融機関	日本政策金融		公庫 銀行 金庫等	東京 支店

3. 添付する書類について

提出対象者(該当する□に✓チェックを入れる)	本申告書に添付が必要な書類
<input checked="" type="checkbox"/> 全員	「国の教育ローン」を融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー ※ <u>圧着はがき</u> の場合は、 <u>申込者氏名が印字されている宛名面も併せてコピーして添付してください。</u> ※「添付できない」場合は、 <u>必ず裏面も記入してください。</u>
<input checked="" type="checkbox"/> 第二種奨学金を申し込んでいる人 (「第一種奨学金」と「入学時特別増額貸与奨学金」のみを申し込んだ人は添付不要)	「入学時特別増額貸与奨学金に係る貸与総額増額願(様式55)」

「国の教育ローン」を融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピーの宛名に記載された氏名を記入してください。

学校記入欄

学校番号	109901
学校電話番号	03-1234-5678
担当者氏名	奨学 一郎

4. 融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピーを添付できない事情等について「融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー」を添付できない場合は、以下 ア・イ のうち該当する理由に☑を入れ、必要事項を漏れなく記入してください。

□ア 申込先金融機関において融資できない旨の通知を文書で発行していないため

- ①結果の通知方法について、あてはまるものに○をしてください。

金融機関窓口で口頭にて結果を知らされた ・ 電話で結果を知らされた ・ その他 ()

- ②融資できない理由について、次にあてはまるかを確認してください。

- ・ 借入申込人世帯の年間収入（所得）が公庫の示す金額を超えている。
- ・ 日本政策金融公庫からの借入申込上限額を超えている。
- ・ 教育資金以外の用途である。
- ・ 保護者等以外による申込み。

上記にあてはまる

あてはまる

上記にあてはまる場合、
入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けることはできません。
※学校に入学時特別増額貸与奨学金を辞退する旨を連絡してください。

通知文のコピーが添付できない場合のみ、記入してください。
融資できない理由について記入する場合は、左記の融資できない理由に当てはまらないかをご確認の上、記入してください。

あてはまらない

※融資できない理由をご記入ください。

□イ 「融資できない旨を記載した公庫発行の通知文」を紛失し、再発行を依頼したが断られたため

「融資できない旨を記載した公庫発行の通知文」は再発行が可能ですので、原則、金融機関に再発行を依頼してください。再発行されなかった場合に限り、下記の欄に記入し、本紙を提出することができます。
なお、再発行の依頼状況について、進学先の学校を通じてあなたに照会することがあります。

再発行を依頼した日	通知文のコピーが添付できない場合のみ、記入してください。	(西暦)	年	月	日
再発行を断られた日		(西暦)	年	月	日
再発行を断られた理由					
融資できない理由					

万一、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込んでいないことが判明した場合は、入学時特別増額貸与奨学金の採用を取り消します。
この場合、既に振り込まれた入学時特別増額貸与奨学金（第二種奨学金の採用候補者の場合は、第二種奨学金も併せて）の全額を返金しなければなりません。

- 「入学時特別増額貸与奨学金」は日本学生支援機構の奨学金ですので、申込みや手続きに関する照会等は、公庫ではなく在学校にお問合せください。
- 「国の教育ローン」は日本政策金融公庫の融資ですので、申込みや手続きに関する照会等は、公庫にお問合せください。
- 日本政策金融公庫「国の教育ローン」の融資を受けることができた方、申込手続きを途中で取り下げた方、収入が高い等の理由で日本政策金融公庫が定める申込みの要件を満たさない方又は申込みをしていない方は入学時特別増額貸与奨学金を利用できません。